

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

坂井市立大関小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

- ・PTA会長・副会長
 - ・大関コミュニティセンター長
 - ・大関地区区長会長
 - ・大関保育園長
 - ・まちづくり協議会会長
 - ・民生児童委員代表
 - ・青少年育成会代表
 - ・地域コーディネーター（元PTA会長、元大関コミュニティセンター長）
 - ・校長、教頭、教務
- （計13名）

(2) 協議会の内容

- | |
|---------------------------------|
| 開催回数：3回 |
| 開催日程 |
| ① 7月17日 本年度の取り組み
1学期の学校評価結果 |
| ② 1月15日 これまでの成果・反省
餅つきの計画 |
| ③ 2月18日 本年度の学校評価について
来年度に向けて |

(3) 協議会における成果と課題

「大関助け合いまちづくりプラン」のワークショップで出た子どもたちの企画を実現することを本年度の目標とした。看板の設置方法や場所の交渉など、協議会が中心となって行った。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

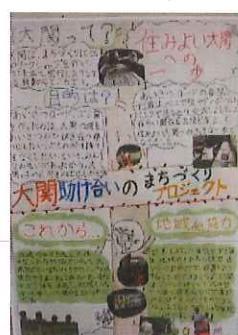
昨年参加したまちづくり協議会主催のワークショップでの子どもたちの意見や思いを具現化し、ふるさとを自分たちの手でよくしていこうとする態度を育成する。また、地域の方の指導・協力を得て勤労体験活動を行い、収穫祭で自然の恵みの収穫に感謝するとともに、地域の方への感謝の場にする。

(2) 活動の実際

① 「あいさつロード看板」「ゴミ箱」の制作

昨年度、大関まちづくり協議会主催の「大関まちづくりワークショップ」に参加し、地区の人たちに混じって「地域福祉」「環境」など5つの観点から大関地区のまちづくりについて意見交換をした。そこで出た子どもたちの願いは「朝夕、大人と子どもがあいさつできる地域にしたい」「ゴミのポイ捨てを減らし、きれいなまちにしたい」であった。本年度はその願いの実現に向けて「あいさつロード看板」と「ゴミ箱」の制作を行った。

看板は通学路の5カ所に設置し、ゴミ箱は敬老会など地区の行事で活用していただいた。看板の設置場所の交渉や設置作業には、大関地区区長会はじめ地域の方々が協力してくださった。



②モチ米栽培と餅つき

5年生が、地域の方の指導で、5月に田植えを行い、秋には手刈りで稲刈りを行った。田植え、稲刈りとも初体験の児童がほとんどで、地域の農家やお年寄りの助言や手助けを受けて、戸惑いながらも意欲的に行った。収穫した餅米は、地域の人の協力を得て餅つきを行い、全校児童に振る舞った。



③さつまいも栽培と収穫祭「大関フェスティバル」の実施

全校児童が6つの縦割り班に分かれて、さつまいもの苗植えをし、水やりや草取りなどの世話をした。11月の収穫祭「大関フェスティバル」では、5年生が、家庭科の授業と関連させて、収穫したサツマイモを使って「さつまいもカレー」を作った。当日は、日頃お世話になっている学校ボランティアの方々や地域の人たちを招待し、日頃の感謝の気持ちやお礼の気持ちを表すとともに、全校児童といっしょに企画と一緒に楽しんだり、カレーを味わったりして、収穫の喜びを共有した。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・看板の設置については、設置場所の選定および交渉を行った。また、看板の組み立て・設置には、区長会の協力を仰いだ。
- ・5年生のモチ米作りでは、田植え及び稲刈り体験の指導を行った。その際、地域の方や農業組合の方への協力を依頼するなどの連絡調整を行った。
- ・5年生の餅つき体験では、餅つきに協力してくれる地域の方々との連絡調整及び餅つきのための用具調達を行った。当日は餅のつきかたや、ちぎり方や丸め方などの指導を行った。
- ・サツマイモの栽培では、畑の耕作や肥料やりなど、児童や教職員では難しい労力のいる作業を行った。

(4) 特に工夫した事項

子どもたちの「大関地区をよい町にしたい。」「こんなことをしたい。」という熱い思いを大切にし、それを具体化していった。子どもたちの活動の様子を学校だよりやリーフレットで発信したり敬老会などの行事で紹介したりした。

(5) 成果と課題

- ・本年度の取り組みは、子どもたちの思いが地域の大人を動かしたと言っても過言ではない。今回の体験を通して、子どもたちと地域の人とのつながりが強くなり、子どもたちは地域に関する学習に楽しみをもって取り組んだ。学校評価の児童のアンケートでも昨年より地域学習に関する肯定率が高くなり、学習への意欲が見られた。
- ・本年度は、昨年以上に地域の人材に恵まれた。特にあいさつロード看板の設置には、地区区長会長が木工所経営者であり、材料の調達や組み立て・設置に大いに関わっていただき大変助かった。地域の人材活発掘・活用が体験活動の要となると感じた。